



# フレンドタイム通信

令和3年8月26日(火)

今町小学校

No. 3

## 7月のテーマは「意思伝達」

「自分の気持ちをきちんと伝えること」は、子どもによって得意な子とそうでない子がはっきり分かれるスキルです。特に何かしらの誘いを断るのは、大人でも苦手とする人が多いのでは。

今回は、「言わなくても分かってほしい」ではなく、「きちんと伝えないと理解してもらえない」という考えの基、『上手に断る』ことについて学習を進めました。



### 各学級の様子

#### 『低中学年：「断る方法いろいろ」(こ・わ・か)』

「昼休みは〇〇をして遊ぼう。」「今日帰ったら、一緒に遊ぼう。」など、友達同士で誘い合う場面がよく見られます。本校は、学年問わず一緒に遊ぶ姿が多く見られ、とてもよい雰囲気です。ただ、友達の誘いがいつも自分の求めていることや、都合のよいタイミングとは限りません。「したくないな。」「したいけどできないな。」このようなときもあるでしょう。

そこで、しっかりと『断り』の意思を伝えつつ、相手や相手との関係を傷つけることのない『上手な断り方』のポイントについて学習しました。



#### 『高学年：「わたしはしない」(は・り(の)わ・に)』

誘いに対してあいまいに答えると、自分は断ったつもりでも、相手は受け取ってくれたと勘違いすることもあります。みなさんはそのような経験はないでしょうか。ただ、単にはっきり「いやだ」と言うだけでは逆に人間関係を悪くしてしまうことがあります。難しいですね。

しかし、はっきりと「いやだ」と答えなければならない場面があります。高学年ぐらいになると、行動の範囲や交友関係が広がり、犯罪や非行への誘いを受けるなど、安全が脅かされる可能性が出てきます。

そこで、お酒やたばこ、危険薬物に関わる危険な誘いに対する断り方のポイントを学習しました。

「自分の心と体のキャッチボール」では、6年生が各教室に出向いて、お手伝いをしてくれました。

